

## 近畿大学病院 産婦人科で骨盤臓器脱に対する治療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

近畿大学病院 産婦人科（以下、当科）では、「骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨脛固定術を安全に行うための造影 3D-CT を用いた血管走行の確認とその有用性の研究」という臨床研究を行っています。そのため、当科で骨盤臓器脱に対する治療を受けられた患者様の診療情報を使用させていただきますので、以下の内容を確認してください。なお、この研究は、近畿大学医学部倫理委員会 (<https://www.med.kindai.ac.jp/rinri/index.html>) で審査・承認を受け、医学部長による実施の許可を受けて行われます。

### ① 情報の利用目的及び利用方法

この研究では、腹腔鏡下仙骨脛固定術（腹腔鏡下仙骨脛固定術及びロボット支援下仙骨脛固定術）の造影 CT のデータと造影 CT の撮影の有無による手術成績について調べることを主な目的としています。骨盤臓器脱に対して 2014 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの間に、近畿大学病院で腹腔鏡下仙骨脛固定術（腹腔鏡下仙骨脛固定術及びロボット支援下仙骨脛固定術）が行われた患者様の診療情報を利用します。利用する情報は、患者様個人が特定されないようにした上で、個人情報に関しては、厳重に管理します。なお、それらの情報を他の機関へ提供したり、別の研究で利用したりすることはありません。

### ② 利用する情報の項目

カルテ情報（年齢、経産回数、Body mass index、出血量、手術時間、周術期合併症の有無）及び造影 CT の画像所見

\* Body mass index (BMI) …ボディマス指数と呼ばれ、体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数です。

なお、収集されたデータは本研究の目的以外に利用することはありません。

### ③ 利用開始する予定日

近畿大学医学部長の研究実施許可日（2025 年 1 月 15 日）

### ④ 利用する者の範囲

本研究に参加する医師

近畿大学医学部 産科婦人科学教室

研究責任者：松村謙臣

研究分担者：小谷泰史・加嶋洋子・福田奈穂・新垣紀子・阿部秋子・坂本敬哉・東美夕・瀬川美雪・大角規子

⑤ 情報の管理について責任を有するものの名称

近畿大学医学部

⑥ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止する旨

この研究では、患者様・ご家族様の診療情報が利用されることに同意できず、拒否されたい場合には、下記の方法により、いつでもその利用を停止することが可能です。また、利用の停止を受け付けた場合でも、その後の診療において一切の不利益を受けることはありません。ただし、申し出のタイミング（すでに研究結果の解析段階に入っている、解析がすでに終了している、など）によっては不可能な場合があることをご了解ください。

⑦ ⑥の研究対象者等の求めを受け付ける方法

下記までご連絡ください。なお、この研究に関するすべてのお問い合わせも下記で受け付けます。

[お問い合わせ先]

近畿大学病院 産婦人科 加嶋洋子

電話：072-366-0221（内線：3215） FAX：072-368-3745

以上